

Japan Association For Improving School Lunch

公益財団法人  
学校給食研究改善協会

2022年4月8日 発行  
〒160-0004  
東京都新宿区四谷3-12 サワノポリビル7F  
TEL : 03-3357-6755 FAX : 03-3357-6756  
<https://www.gakkyu.or.jp/>  
上記URLで本紙のバックナンバーがご覧になれます。



## もくじ

栄養教諭による食育の取組が  
正しく評価されるためにはどうすればいいのか? ..... 1 ~ 12

## 栄養教諭による食育の取組が正しく評価されるためには どうすればいいのか? ~周知に向けて本気で考える~



### 出席者

文部科学省 初等中等教育局 健康教育・食育課  
文部科学省 初等中等教育局 健康教育・食育課  
埼玉県草加市立草加中学校PTA 草加市PTA連合会  
東京都調布市立深大寺小学校  
沖縄県教育庁 保健体育課 学校安全・学校給食班  
栃木市立大平中学校  
コーディネーター  
公益社団法人全国学校栄養士協議会  
公益財団法人学校給食研究改善協会

食育調査官  
学校給食調査官  
会長  
校長  
指導主事  
栄養教諭

清久 利和  
齊藤 るみ  
鈴木 芳和  
濱松 章洋  
崎浜 あづさ  
中田 智子

会長  
理事

長島 美保子  
(すべて敬称略)

一昨年から続く新型コロナウイルス感染拡大や、異常気象による災害多発など、予測不能な緊急事態に直面した時に、「自身の健康を管理できる子供の育成」は、喫緊の課題です。一方で、「栄養教諭は学校における食育推進の核となって取り組む」とされ、その取組内容の成果をしっかりと出すことが求められています。本号ではこの状況下、「開始17年となる栄養教諭制度の成果を世の中に広く周知し、理解・評価されるためにどうすればよいか」について、文部科学省・保護者・学校長・教育委員会・栄養教諭、それぞれのお立場から、真剣に語って頂きました。

①「PTA本部会常任理事会」で食育について議論している様子(保護者総勢8名) ②左より鈴木PTA会長・保護者の方々  
③左より保護者、中村校長・佐藤教頭・森教諭 ④今井栄養教諭 食育授業(写真提供:草加市立高砂小学校)

(撮影協力 埼玉県草加市立草加中学校)

栄養教諭による食育の取組成果が評価されるために、  
どうすればよいか? ~周知に向けて本気で考える~



【長島】令和のスタートから、全世界で新型コロナウイルス感染症(以下 コロナ) 拡大が続き、この年初からは更に驚異の速さでコロナ感染が爆発的に増加しています。

昨年は家庭で学校給食のない日が続き、子供たちの健康課題も大きくクローズアップされました。予測不能な事態に遭った時、子供たちが自分の健康をまもるために、「自身の健康を管理できる子供の育成」は、喫緊の課題です。

平成 17 年に栄養教諭制度がスタート、昨年 4 月 1 日には第 4 次食育推進基本計画が施行され、この中で、「食に関する指導」の取組の成果を客観的に評価して、「体系的・継続的に食育を推進していく栄養教諭の在り方」を自らが示し、その成果を分析して、改善に繋がるように意識し、しっかり取り組んでいくことが求められています。

資1 第4次食育推進基本計画の基本的な方針(重点事項)

<p>&lt;重点事項&gt; 国民の健康の視点 生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進</p>	<p>&lt;重点事項&gt; 社会・制度・文化の視点 持続可能な食を支える食育の推進</p>
<p>&lt;横断的な重点事項&gt; 「新たな日常」やデジタル化に対応した食育の推進 これらをSDGsの観点から相互に連携して総合的に推進</p>	

農林水産省「第4次食育推進基本計画の概要」より引用

すなわち、栄養教諭の取組内容とその成果を、明確に世の中に向けて広く周知し、正しい理解を得ることが非常に重要となっております。

本日はこのようなことを踏まえて、「この困難な時代をしっかりと生き抜くことのできる子供たちを育てるには、これからの栄養教諭はどうあるべきか」、「自らの取組の成果を評価に繋げるために、求められている資質・能力そして行動について」、分かりやすく存分に、忌憚のないご意見を、語り合ってくださいと思っています。

それではまず保護者のお立場から、学校現場における栄養教諭の取組に対する率直な印象やご認識、ざっくばらんな感想などを鈴木PTA連合会長からお伺いします。



求められている栄養教諭の役割と、取組の成果と課題  
PTA代表の保護者として、充実した自校給食や、子供たちに寄り添った栄養教諭の温かい取組に感謝している

【鈴木】私は草加市のPTA連合会会長と学校給食連絡協議会会長に就いて8年になります。主な業務は、子供たちの1年間の給食物資を、栄養教諭や校長先生たちと一緒に選定しています。市は小・中学校が31校あり、全て自校式ですから、ほぼ毎日、栄養教

諭の方々から「その日の給食献立のこだわり」などを伺うことができます。PTAの講習会でも、栄養教諭から食育や地産産の野菜やレシピの紹介等、熱心に学ばせて頂いています。

草加市は、農家の方からの提供がたくさんあって、子供たちは地元野菜をよく食べています。その中で他市でも有名な地元の「小松菜カレー」があり、美味しく栄養のある野菜がどんな土壌で育ったかなどを学びながら、子供たちは食べています。食育・地産地消という観点からも、このような取組は素晴らしいと思っています。栄養教諭等の方々とは近しく、交流も盛んで、いつも子供の健康を頭において話し合っています。



画1 第6回 地産地消給食等メニューコンテスト  
平成 25 年度 農林水産省食料産業局長賞  
「麦ごはん、小松菜カレー、牛乳、草加の野菜スープ、アーモンド大根サラダ、果物」など合計9種の地産産物使用  
埼玉県草加市立小山小学校 献立作成 今井栄養教諭

【長島】では続いて、学校における食育の推進について「学校長のリーダーシップ」が重要とされ、全ての教育活動に関連するとされています。栄養教諭等の取組に対して、校長先生のお立場からのお考えと印象、また食育への想いなどお願いします。



・校長として食育推進のために第一に考える目標は「子供の将来と健康のために何ができるか」が大前提  
・栄養教諭等のいる区市の栄養士会や学校現場は食育に込められた熱量が高く、不在校とは明らかに違っていると感じる

【濱松】まず、校長として第一に考えることは、「子供が将来にわたって幸せに生きていくために、できることは何か」常にそこを追及しています。私は栄養士の取組を見て学び、子供にとって食育は大変重要であるということに改めて気付かされました。現在本校はまず、栄養士を中心に組織で話し合い食育の方針を立て、給食を食育

の授業時間として取り組んでいます。日々給食の授業に提供される情報は6つの食育の視点を基に作成しています。

私の栄養教諭等に対する印象は「想いのある方が多い」です。想いのある方がおられる学校現場では、食に関する指導に込められた熱量が明らかに高く、不在の学校とは違って、「想いのある方」がいる、いないで、子供に届けようとする熱量の差があり、子供の成長度が明らかに違っていると実感しています。

【長島】 続いて、日々食育の現場にいる栄養教諭という立場で、中田栄養教諭にお伺いします。

栄養教諭として身近になった子供たちへの食育や個別指導に、やりがいをもって、充実した取組ができている  
管理栄養士・栄養士の免許→ 個別的な相談指導  
教諭免許→ 学校全体の食に関する指導計画を立て管理する

【中田】 私は栄養教諭へ任用替えとなつて、栃木市教育委員会初の指導主事になることができ、現場の問題に向き合い、自分で解決できたという充足感とやりがいを実感していました。そして今行政から現場の栄養教諭に戻り、食育や給食指導などで子供たちがとても近くなり、個別的な相談指導等も組織的に、教職員・主治医・医院の管理栄養士や地域の保健師と共働して子供たちを健康へと導くことができるようになり、栄養教諭として充実しています。

栄養教諭は、学童期から思春期の大切な時期の支援ができる責任の重い立場にあります。そして①管理栄養士・栄養士の免許を活かして個別的な相談指導、②教諭の免許を活かして学校全体の充実した食に関する指導計画を立てて授業を行う、といった非常に大事な役割を担っています。

「我々栄養教諭が、児童の安全安心な学校生活と、将来の幸せと健康に寄与している」と自覚している

管理栄養士・栄養士はその資格を活用して、人々の命・健康・そして幸せに貢献する仕事です。濱松校長先生のお話の通り、栄養教諭として全ての児童生徒が安心して学校生活を送ることができ、未来の健康と幸せに繋げることができるのは私たちだと自覚し、使命感をもって取り組ませて頂いています。

【長島】 学校現場で取り組む栄養教諭に対する具体的な支援や指導を、どの様な形で教育委員会から発出されているのか、沖縄県教育庁教育委員会の崎浜指導主事にお伺いします。

配置数促進に向けて、教育委員会として様々な支援やバックアップのための場面と機会を設けている

【崎浜】 沖縄県は栄養教諭配置の数値は未だ低く、食育の推進状況も地域差・学校差がありますが、現場の栄養教諭等のための様々な研修会等を通じて、支援活動をさせて頂いています。①各市町村教育委員会主幹等 ②地

区別の小中学校給食主任 ③栄養教諭等・調理従事者等  
地場産物活用目標値を基に、農林水産課と連携して毎日各調理場の農林水産物活用状況を入力依頼、この数値把握により、問題解決策を講じて解決に繋げる

また、第4次食育推進基本計画の中に示されている、学校給食の地場産物活用の目標値を基に、例年、農林水産課と連携を図って、毎日各調理場の農林水産物使用状況を入力して頂いています。各市町村の利用状況や課題を把握することで、それらの課題解決に向けて、様々な対応が可能になります。さらに、地場産物活用の向上に向けて、農家や生産工場等の見学・研修会などの支援事業も農林水産課と連携を図り実施しています。

資2 第4次食育推進基本計画

- ◆ 計画期間 令和3年度～7年度
- ◆ 重点課題 <1>生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進(国民の健康の視点)  
<2>持続可能な食を支える食育の推進(社会・環境・文化の視点)  
<3>「新たな日常」やデジタル化に対応した食育の推進(横断的な視点)

文部科学省関係の目標値	【現状値】	【目標(令和7年度)】
○ 朝食を欠食する子供の割合【継続】	4.6%(令和元年度) →	0%
○ 栄養教諭による地場産物に係る食に関する指導の平均取組回数※1【変更】	月9.1回(令和元年度) →	月12回以上
※1 学校給食の時間を要した直講の指導、校内放送、給食日よりや指示書等の作成、影響する各取組の回数		
○ 学校給食における地場産物の活用割合(金額ベース) 現状値(令和元年度)からの維持・向上した都道府県の割合※2【変更】	—	90%以上(43都道府県以上)
○ 学校給食における国産食材の活用割合(金額ベース) 現状値(令和元年度)からの維持・向上した都道府県の割合※2【変更】	—	90%以上(43都道府県以上)
※2 令和元年度の金額平均は、地場産物82.7%、国産食材87.0%		

文部科学省行政説明資料 参照 文部科学省

【長島】 それでは、栄養教諭の配置が始まってから今日まで栄養教諭の取組の成果、評価、学校における位置付け等について、清久食育調査官、お願いいたします。

食育推進の方向性は、困難な時代を生き抜くために、しっかり「子供たちの食を営む力」をつけること



栄養教諭の取組の成果・評価をしっかり学校に位置付け、格差の減少や正しい理解に繋げていきたい

【清久】 現在全国の栄養教諭の人数は6,752人です。平成20年に学校給食法が改正され、栄養教諭が食に関する指導を行うと規定されたのに伴って改訂された学習指導要領の総則の解説の中には、「食に関する指導に当たっては、栄養教諭等の専門性を生かす」と明記されました。つまり、学校における食育推進の中核を担うという位置付けがされたこととなります。そして栄養教諭が配置されたことで、殆どの学校で全体計画が作成され、「学校の中で食育を推進しよう」という機運が確実に生まれていることは成果だと考えます。

・「学校の教育活動全体で食育を推進する」と学習指導要領に明記されたが、地域・意識・認識・対応等の格差が多々あり、懸念される大きな課題となっている

・栄養教諭に対する管理職や保護者の理解は充分か

逆に、課題もあります。地域や校種、管理職や教職員等の意識の格差、都道府県で栄養職員から栄養教諭への任用替えの格差など様々な格差が生まれています。また、管理職や保護者の栄養教諭に対する理解が不十分で、栄養教諭が専門性を十分に発揮できない学校もある、という実態も見受けられます。

PTA会長として栄養教諭に、保護者会などの場で食の指導のプレゼンなどを依頼し、認識に繋げている

【鈴木】私も同じ心配があって、定期的にPTA講習の中で、栄養教諭をお願いして食の指導の内容を、保護者の皆さまに披露して、認識して頂いています。

【清久】そういう取組は、本当に有難いです。

【長島】さて、様々な法の改正で変わっていく中、文部科学省（以下 文科省）として、齊藤調査官にぜひ、給食の教材化を踏まえた栄養教諭の取組成果・評価・数値目標等、お伺いします。



栄養教諭の存在が国民に未だ周知されていない現状を踏まえて、子供の将来のために何に取り組むか

【齊藤】栄養教諭制度がスタートしてから十数年経ちましたが、まだ、多くの国民が栄養教諭の存在を知らないという実態があります。

そして現在、栄養教諭は職責が果たしているのか問われていると感じています。

先程、瀨松校長先生から「子供が将来にわたって幸せに生きていくために、できることは何か」について追究していくことが大前提であるとのことがありました。栄養教諭の職務も「子供が将来にわたって健康で幸せであること」を目指していくものと思います。そのために、栄養教諭は、子供たちの実態をよく把握し、健康課題があれば、他教師に課題を提示したり、解決方法の提案をしたりして、他教師と一緒に議論できる力が求められると考えています。そして、課題を解決するために、全体計画に基づき、①教科等における食に関する指導や、②給食の時間における給食を教材とした指導、全体の指導では、③解決できない個別性の高い課題があれば個別の相談指導を行うことが必要です。また、これらの指導については、活動指標だけでなく、成果指標も求められます。

専門職である栄養教諭ならではの指導の成果を示し、周囲から必要とされる栄養教諭を目指していく

一方で栄養教諭の配置促進に繋げるには、栄養教諭ならではの指導の成果を、数値等により示していくことも必要であると感じています。

栄養教諭は子供や国民にとっての課題が何かを理解し、課題に応じて寄り添った取組を行い、成果を上げて

いく必要があります。専門職として保護者や学校の教職員から必要とされる栄養教諭が求められます。

「子供の健康のために何ができるか」をぶれさせない  
給食を通じた食育で「子供の食を営む力」を身につける

【長島】齊藤調査官、栄養教諭としての体験を踏まえておられるからこそその厳しいご指摘、深く胸に伝えました。「子供たちの健康のために何ができるか」「給食を通じて子供たちが学んだ食育で食を営む力を身につける」、これが究極の目的となってくると思います。

【清久】長島会長、提案させて頂いてもよろしいですか。

【長島】はい。

【清久】先程、齊藤調査官から本音のご発言がありました。それで、皆さんにもコロナ感染拡大・気候変動等厳しい社会を子供たちが強く生き抜くために、食に関する事で何が必要かをぜひ本音を語って頂きたいです。

【長島】私も、皆さまから本音のご意見を頂戴したいと思います。中田栄養教諭、お力を抜いてよろしくお願い致します。

学校内・家庭・地域と連携して食育を推進していく  
最重要の全体計画を基に職員会議・学校内外で連携して協力や支援を頂き、意見交換もできるようになった

【中田】では気持ちを楽にしてお話します。私が栄養教諭になった時は、最初は手探りで食に関する指導の全体計画を作成して、授業や食育を実施していましたが、今改めてその全体計画が不可欠・最重要のものだと痛感しています。これを基に職員会議や学校内で「栄養教諭はこんなことができます」としっかり伝えて、更に「子供たちのここが課題だから、改善のために、これをこのように繋げて、食の力をつけていきましょう」「目標はここです」とビジョンのある意見も言えるようになりました。そうすると、教職員の方々から反応があり、同じ方向を向いて、たくさんの協力が得られるようになってきました。

栃木農業高校との連携で地場産物を給食に使用し、栄養教諭の食育の周知にも繋がり、やりがいを感じている

地域との取組では、今年は栃木農業高校と連携し、地場産物を給食に使用させて頂き、更に同校の農場長をゲストティーチャーに迎えての授業を行いました。こういう地域の方々との交流を食に関する指導の時間の中で実施できるので楽しく、やりがいや周知に繋がっています。

【長島】職員の方を巻きこんで、共に子供に食を営む力を付ける、大切なポイントですね。崎浜指導主事、どうぞ。

県の関連組織と協同して、県に特化した内容の小学生用食生活学習教材・教員用テキスト「くわっち〜さびら」改定版（デジタル化）作成、SDGsを加えて、毎年活用状況調査も実施

【崎浜】教育委員会として、子供たちに「食を営む力」をつけるため、県の保健医療部・県医師会・学校栄養士会と連携して、平成27年県内全ての小学生を対象に、

学級担任が栄養教諭とのチーム・ティーチングで学校給食が生きた教材として活用できる、教科書に沿った内容の「くわっち～さびら」という冊子を作成しました。

図1「くわっち～さびら」  
沖縄県食生活学習教材



次世代の健康づくり副読本



「くわっち～さびら」、教員用テキストは学習指導案の略案や解説も記載され、教職員が食に関する指導を実施しやすいように工夫がされており、「くわっち～さびら」とは、沖縄の方言で「いただきます」という意味です。ワークシートを活用し、家庭に繋がる工夫もされています。教育委員会として、県一定水準の食育を目指し、この学習教材の活用状況を毎年

調査しています。各学校は「くわっち～さびら」を、学級担任、栄養教諭等で学校給食が効果的に生きた教材として取り組めるよう活用しています。今年度改訂では、ICTの活用に向けてデジタル版も作成し、SDGsなど新しい色々な食・その他の課題も加えて掲載・刷新しています。

**【長島】** すばらしい取組ですね。では、濱松校長先生お願いします。

- ・食に関する指導を学校と栄養教諭等が共に担って、「子供の将来にわたって食を営む力」に繋げていきたい
- ・栄養教諭として想いをもち、その想いを突破口にして、食育の輪を本気で子供のために広げていって下さい!

**【濱松】** 当校が取り組んでいる食育のアンケートで、食事のマナー以外の、いわゆる食育の情報は家ではあまり教わっていないことが分かりました。だからマナーも含めて、食に関する指導を学校と栄養教諭等が共にしっかり担って、「子供たちの将来にわたる食を営む力」に繋げていきたいと考えています。授業に関しては、「年間献立計画表」を作成し、本市給食部会では、先生たちが、この教科書のどこで食育と繋げて考えるのか一目で分かるように、教科書の単元名を書き加えています。

私は、想いが無ければ子供にも伝わらないし、成果のある指導はできないと思っています。尊敬に値するほどの熱量をもって取り組んでいらっしゃる栄養教諭等の方をたくさん存じ上げています。皆さん、最初想いをもってこの職に就かれ、志をもって着任されたのでしょうか。一人職の現場にあってあきらめることなく、その想いを原動力にして、食育の輪を広げていって頂きたいと思っています。

表1「年間献立計画表」2学期(8・9月)高学年抜粋

月	学校行事等	食文化の伝承	行事食等	教科と関連した献立 (高学年)	
				5年社会科 自給率・米・地場食材	6年社会科 文明開化・洋食
8月 9月	始業式 ふれいあい 給食	十五夜・お彼岸 重陽(ちょうよう) の節句	お月見献立		
月	教科との連携			給食メモのテーマ	
8月 9月	1年生国語 だれがたべたのでしょう 野菜の切り口	5年社会科 自給率	4年理科 季節と生き物・旬	6年社会科 文明開化・洋食	
8月 9月					
月	食に関する 指導目標	給食指導目標	旬の食材	地場野菜の利用	木島平村季節 の食材
8月 9月	係の仕事 きちんとして	規則正しい 食事をしよう	さんま・なす ぶどう・梨 りんご・豆・ 菊花	なす	なす

調布市公立小学校教育研究会給食部会による年間献立計画表を基に、事務局制作オリジナル表紙画像を挿入し、作成

**【長島】** 鋭い指摘を頂きました。鈴木会長、どうぞ。

- ・貧困児童の命の綱となる栄養価の高い献立の給食を休みの間も続けて提供して下さい!
- ・コロナで不登校の児童も、給食が楽しみで登校する

**【鈴木】** 私からは保護者の観点で栄養教諭等の方々には本音でお伝えしたいことがあります。

①「夏休み明けに栄養不足となった貧困家庭の子供たちに栄養価の高いものを提供して頂きたい。②コロナ禍で不登校の児童が相当増えており、担任の声かけで、登校して学校給食を食べて、指導室に寄って、帰る子もいるそうです。PTA保護者代表と子供の親として、このように「助けを必要としている子供たちに、栄養教諭の思いのこもった栄養価の高い美味しい給食を、休みの間も続けて提供してほしい!」というのが私の心からの栄養教諭の方々に対する要望でございます。

**栄養教諭の「食に関する指導」を広く周知するために  
栄養教諭の取組が広く正しく周知されるために、具  
体的に何をすればよいか**

**【長島】** 「子供の幸せ」という視点で、想いのこもったお話でした。これを担うのは、栄養教諭等ということで、「栄養教諭等の取組が、広く正しく理解・周知されるためにはどうすればよいか」、さらに率直なご意見をお伺いします。では崎浜指導主事から、よろしいでしょうか。



- ・栄養教諭の重く重要な仕事内容を正確に発信し、「子供の食を営む力」を育むために連携し一体となって、積極的に成果を出す
- ・受け身では成果の実績は上がらない

**【崎浜】** 私も栄養教諭の存在価値については、強く認識していますので、前職の栄養教諭の立場でお話します。

栄養教諭は過密な業務をこなし、多くの気配りをしながら、重い職責を果たしている仕事です。学校の中では単独職ということもあり、教職員の方々から正確な職務内容の理解を得るのは難しいかもしれません。だからこそ、栄養教諭の職務に関して校長・管理職・教職員の方々には、「仕事の内容がたいへん」といったアピールではなく、重く大切な内容をしっかり発信し、正しく理解してもらって、「子供の食を営む力」を育むために積極的に連携し、学校と一体となって成果を出すことが重要です。ただ受け身になって待つのではなく、栄養教諭自らが進んで行動することが最も重要と考えます。

**コロナは距離を取ることが求められるが、心の距離は、しっかり近づけて、ICTも活用しながら効果的に発信！**

コロナ禍で、人との距離を取るようにとされていますが、今はまさに、子供たちとの心の距離を近づけることが最も必要な時ですから、ICTも活用しながら効果的に食育の発信をすることがとても大切であると思っています。

栄養教諭自身も教職員への発信力・繋げる力・資質能力を高めていく必要があります。齊藤調査官からのメッセージは、現場の栄養教諭等に注意を促して下さる「本気で想いのこもった言葉」として受け止めました。更に、栄養教諭の周知・促進に向けて頑張ります。

**【長島】**ただ今、心に残るフレーズがたくさんありました。「大変さをアピールするのではなく、大切さをアピールする」「受け身ではなく、自身で発信する」、いずれも栄養教諭にとって、不足している部分ではなかったかと改めて思いました。では、中田栄養教諭お願いいたします。



**あらゆるツールとマスコミや行政広報誌も活用して、積極的に、効果のある情報を広く発信していく**

**【中田】**周知の方法として、校内では給食時間の校内放送、掲示、保護者へのお便り、ホームページ、PTAの広報誌・研修会講話、そして関係しているアレルギーや臨床栄養等の学会などにおいても積極的に発表し、心がけて理解に繋がるように、お話をさせて頂いています。

先日東京栄養サミット<sup>\*1</sup>が開催された時には、日本栄養士会のサイドイベントにおいて齊藤調査官と共に発表し、総理官邸広報誌にも情報を掲載して頂きました。広報や新聞は、周知効果のある媒体ですから、心がけてお受けしています。その結果、児童生徒、保護者、地域の方々、他職種の管理栄養士、医師等との関係が近くなり、自分がやりたい仕事を提案でき、一緒に悩みながら、進めることができるようになりました。

**【長島】**栄養教諭の取組を広く多くの人の目にアピール、尻込みせず、「栄養教諭ここにあり！」と頑張りたいです。

## メディアを活用した取組の広報・周知とその成果事例

北海道 七飯町立七重小学校・七飯町学校給食センター  
当協会 学校給食普及改善委員 伊藤綾子栄養教諭

### 取組への想い

- ① 子供たちが食べたことのない地産食材も使い、多彩な給食を通じて地域の自然・食文化などに理解を深めて生産者に感謝し、「七飯町を愛する心」を育みたい
- ② 多様な食歴により味覚を育てて、将来にわたるバランスの良い食生活と健康に繋げたい

### 取組の成果

- ① 地場産食材を給食に活用した「プレミアムなえデー」(「七飯産の日」を改名)が児童生徒・保護者・教職員そして自治体から高い評価を得て、当初216万円の町予算が翌年度1000万円に増額された。
- ② 年々地域生産者の方々との繋がりが深まり、地場産物の使用割合増加や食育の充実に大きな効果が出ている。新聞(北海道新聞・函館新聞)の定期コラム上でも食の取組や自身の想いを発信し、広く社会への周知と理解に繋がった。

### 地場産給食ですこやかに育った児童のはじけるような笑顔



画2 七飯産の食材を積極的に活用した「七飯産の日」の献立を美味しそうに味わう児童は、笑顔がいっぱい！  
(写真提供：北海道七飯町立七重小学校)



画3 「学校・家庭・地域がつながる食育」をイメージしたイラストを手に、にっこり満面笑顔の七飯っ子  
(写真提供：北海道七飯町立七重小学校)

<sup>\*1</sup> 東京栄養サミット 2021 公式サイドイベント  
「ニッポンの栄養 100 年を、世界へ  
世界の栄養課題の撲滅に向けて、いま、日本栄養士会が果たすこと」



熱心な保護者が懸命に子供の健康のために頑張っている様子を見て、食育が大事と気付いてほしい

【鈴木】草加市は自校式ですから、栄養教諭の方々との距離が近く、大変な取組がよく見えるので、ご苦労が多いなど、僭越ですが度々思います。率直な感想ですが校長先生によっても、食育の理解度にかなり温度差があります。だから保護者が、栄養教諭の方々・地域その他多くの方と一緒に、「子供の健康のために自校式を守ろう!」「地場産物をどんどん子供たちに食べさせよう!」と、声をあげている様子を見て、校長先生や教職員の方々が「食育は大事だ」と、気付いて下されば有難いです。

【長島】ありがとうございます。ここで清久調査官、齊藤調査官から、感想と助言をお願いいたします。

#### 栄養教諭の取組を周知するための3つの情報発信

- ① 校内で管理職・教職員等に向けて
- ② 家庭に向けて
- ③ 地域・社会に向けて

【清久】それぞれのお立場で中身の濃い本音のお話を、ありがとうございます。発信について3つ、お話がありました。1つ目は、①学校の中での発信です。校内で、栄養教諭が管理職・教職員に向けて積極的に食育情報をどう発信していくか。2つ目は、②家庭に向けての発信です。PTAとしっかりタッグを組みながら、どう家庭に発信するか、子供を通じての発信もあります。3つ目は、やはり③地域も含めた社会への発信です。メディアやインターネット等による発信などたくさんあります。濱松校長先生の学校のホームページでは学校給食を調理している様子をYouTubeに載せて発信されています。<sup>\*2</sup> このように社会全体に対して広く発信するという方法も非常に効果的で大事なことです。

#### 求められる栄養教諭の在り方とは 人を動かす内容を発信する

【齊藤】私は少し視点を変えてお話しさせていただきます。

色々な場を通じてアピールすることは、とても大事ですが、国民や保護者・子供たちの興味を引くものでないと、伝わらないと考えます。濱松校長先生の「食育に興味をもつきっかけは、栄養士だった」というご発言は、栄養士が学校長を動かしたのだと思います。栄養教諭として学校で取り組む場合は、子供たちや他教職員に必要な情報や取組を発信することが重要です。栄養教諭が実践したことについて「今後もしてほしい!」と思われる取組が大事な要素だと思います。

#### 一緒に考え議論できる栄養教諭が求められる

他教師にとってどのような栄養教諭が求められているのか、清久調査官と議論したことがあります。その時に上がったのは、「他教師に提案できる」「他教師と議論できる」栄養教諭です。課題や解決方法を一緒に考え議論できる栄養教諭が求められていると思いました。教員に提案し、

一緒に議論ができれば、自然と栄養教諭の周知にも繋がっていくと考えています。

#### 栄養教諭と教員がお互いに尊重し合って進めたら、子供にも伝わって一緒に興味が湧き、面白く取り組める

【清久】「子供のことをよくしたい」という想いは栄養教諭も教員も一緒です。「じゃあどうするか」、それぞれの想いをお互いに出し合いながら相手の気持ちを尊重して進めていく。そうすればきっと自然にお互いのよさが出て子供も興味が湧いて面白くなるんです。僕はそういうことを共に目指したいと思って、齊藤調査官に想いを伝えました。

#### キーワードは、「想い・アピール・発信」ですね!

【長島】色々お話を伺った中で、キーワードは「想い・アピール・発信」だと思います。栄養教諭は、やっぱり知識の専門性をしっかり掲げて、まず子供のために想いをもって取り組み、この想いで取り組んだことを人に強くアピールするかたちで発信し、理解者を増やしながらかけていく。そのことが、栄養教諭制度の大きな礎であり、配置の推進にも繋がることを、共有できたと思います。



図4 すこやか情報便 座談収録の様子 R3.1.14

#### 体系的・継続的に食育を推進していくために

【長島】第4次食育推進基本計画の中で、「栄養教諭が中核となって、保護者や地域の多様な関係者と連携・協働の下で、体系的・継続的に食育を推進する」とありますが、給食管理と食に関する指導を一体として懸命に取り組んでも、その時だけの対症的な取組<sup>\*3</sup>で終わっているのではないかと懸念があります。国及び地方公共団体が取り組む施策として、①学校栄養職員の栄養教諭への速やかな移行を図る、②栄養教諭の配置促進を進める、の2つが提言されている中、各学校配置には遠い現実を踏まえて、この体系的・継続的な食育推進のための栄養教諭の在り方について、お伺いします。

#### 3つの食育の推進

- ①生涯を通じた心身の健康を支える
- ②持続可能な食を支える
- ③「新たな日常」「デジタル化」に対応する

【長島】濱松校長先生お願いします。

・教員志望者への大学授業では、子供の頭と心にすっと入る、楽しくユニークな子供の発達段階に即した講義も行ってほしい

<sup>\*2</sup> 東京都調布市立深大寺小学校ホームページ  
深小の食育 食育動画「教えて 安齋先生給食の時間」



<sup>\*3</sup> 対症的な取組  
一時的、その場限りの表面的な状況に対処するだけで、根本的な解決とならない取組

・子供たちの立場になって教える、学校現場を踏まえた想いのある教師が重要で必要

【濱松】まず、大学のレベルで体系的・継続的に食育を推進できる栄養教諭の基礎をしっかりと作ってほしいです。栄養教諭を目指す大学生への講義は、日々子供たちと接触している現職の栄養教諭や子供に想いをもつ校長も講師に呼んで、子供の生の実態をしっかりと踏まえた内容にして頂きたいです。学術的なことはもちろん大事ですが、「子供の健康と食のことを子供の立場になって教える、学校現場を踏まえた大学教育」が大切です。このような指導が、体系的・継続的な食育の推進のできる栄養教諭の育成に繋がると思います。現場に必要なのは、「子供に学問を伝達することを目的として教える人」ではなく、発達段階に即して、何をどのように気付かせて、掴ませるか、「子供たちの生涯にわたる心身の健康」というゴールへの「想い」をもって内容を考え、指導できる人を育成することです。

大事なことを楽しく学ぶために、ユニークで効果的な工夫タブレット端末の給食写真で家庭と「話食」

本校では、全員に配布されたタブレット端末を使って、子供が給食の写真を撮り、それを家族に見せて、給食の話をしています。子供が「食」について「話す」こと、私はこれを「話食」という造語で表現しました。アウトプットさせることが、食育をしっかり推進する上で最も重要と考えています。こういう発想や柔軟なアイデアを楽しく食育に活かす栄養教諭になってもらいたいですね。

【長島】「話食」、面白いですね、参考になります。それでは中田栄養教諭、お願いいたします。

教諭養成の大学の教員から給食時間の指導について教えてほしいと、よく依頼される

【中田】体系的・継続的に食育を推進していくにはやはり、食育の全体計画が大事です。そして大学での教諭教育も大切だと思います。大学での習得課題内容について、「給食時間の指導課題が大学の授業に無いので教えてほしい」と教員の方々がよく話されるので、その連携が取れることを願っています。

【長島】鈴木会長お願いします。

以前から栄養教諭の熱心な食育の取組に対して、PTAの保護者は感謝と理解をして共に活動しているので、市の行政も一体となり協同して、子供たちの健康を踏まえた自校給食などの充実した実施体制を整えている

【鈴木】学校給食連絡協議会の物資選定委員会には、給食委員会もあり、その中で栄養教諭の方々と度々話し合い、関わりますから理解も深くなり、方針などについても熱心に話し合い、ずっと連携をとって活動しています。教育委員会の中には市のPTA連合会事務局が入っており、モニターとして栄養教諭も参加されて、いい環境で相談もできるので、このような市の体制に保護者と

して、とても安心しています。草加市の様な体制は他にはなく、羨ましがられています。市のPTA連合会事務局が評価されている、と感じています。保護者と栄養教諭とが共に子供の健康のための食育に取り組む様子を見て、このような体系的・継続的な「食育推進」に向けての体制が敷かれたと思います。また、行政・幹部・保護者が一体となって、同じ目標を目指して取り組むことは子供にとっても大きな支援になっていると思います。

【長島】清久調査官、お願いします。

体系的・継続的な食育推進のための要件

- ・平成28・29年度改訂の学習指導要領を基にカリキュラム・マネジメントの視点を入れて、「教育活動」と「経営活動」を整えながら体系的・継続的に食育推進を進めていく
- ・平成30年度改訂の「食に関する指導の手引」（以下「手引」）に基づいて、3つの体系で食育を推進する

【清久】体系的・継続的な食育を推進するには、栄養教諭配置促進により、数を増やすことが必要です。

- ・栄養教諭が中核となってまず、実態把握をし、学校全体で、「地域・家庭との連携」や、「体系的・継続的な食育の推進」が重要であるとしてしっかり共有し、現状や課題をよく話し合い、「よし、やろう!」と一体となって取り組む
- ・学校全体で得た成果を評価に繋げ、配置拡大を進める

このような食育を推進していくための要件は2つあり、1つ目は、平成28・29年度に改訂された学習指導要領に基づいて、カリキュラム・マネジメントの視点を食育に入れていくこと。すなわち、教育活動と、学校の体制・運営である経営活動の双方を整えながら、体系的・継続的に食育を進めるということです。学校の全体計画作成も上手くPDCAサイクルで改善するために、この考え方が重要なのです。

資3 カリキュラム・マネジメントについて

カリキュラム・マネジメントとは、三つの側面から、教育課程に基づき組織的・計画的に教育活動の質の向上を図っていくものである。

各学校の教育目標の設定や、教科等横断的な視点からの教育内容の配列、年間、単元、各授業等にかかる指導計画の作成、児童や地域の実態の把握、教育活動の実施に必要な人的・物的資源の確保など、教育課程を軸とした教育活動の改善・充実にかかわるすべての取組が、カリキュラム・マネジメントの一環として実施されるものである。



文部科学省 小学校におけるカリキュラム・マネジメントの在り方に関する検討会議報告書 平成29年2月14日付 参照



全体計画の作成では、まず、最も重要な児童・生徒の実態の把握をします。そして、「地域と家庭との連携」や「体系的・継続的な食育」が必要なことを、皆で共有していきます。実態から課題を明確にし、その課題を解決するための食育の方向性が明確になると、学校全体が「よし、効果のある食育をやろう!」と雰囲気が変わり、



一体となって取り組むことができます。その取組の要として、栄養教諭は存在します。このように、カリキュラム・マネジメントの視点で食育を推進して頂き、栄養教諭の配置拡大に繋げていきたいと思っています。

**「手引」の3体系の中で、栄養教諭が専門職としての力を最も発揮できる個別的な相談指導で、しっかり成果を出して、「学校にやっぱり栄養教諭が必要だ！」と評価してもらおう**

2つ目は平成30年度に改訂した「手引」<sup>※4</sup>に基づいて、食育を推進していくということです。①教科等の時間における食に関する指導、②給食の時間における食に関する指導、そして③個別的な相談指導の3体系に基づいて、体系的・継続的な指導を行います。その中で、栄養教諭等にぜひ頑張ってもらいたいのが、③の個別的な相談指導で、専門職としての力を最も発揮できることです。「やっぱり栄養教諭は学校に必要だ」という評価に繋がる取組をして頂きたいと心から思っています。



図5 PTA本部会常任理事会出席の方々  
(撮影協力：埼玉県草加市立草加中学校)

### 「栄養教諭の配置促進」に向けて

**栄養教諭が取り組む「子供の健康のための食育」に対して、保護者の正しい理解と評価があれば、行政からの支援にも繋がる**

**【長島】**では、栄養教諭の配置促進とそれを目指す今の栄養教諭等へのご助言について、皆さまのご意見も踏まえながら、清久調査官、再度お願いいたします。

**【清久】**PTA会長自らが給食の会議に参加されることは少ないので、本当に有難いと思いました。保護者組織であるPTAが、「栄養教諭の取り組む給食は子供に重要」との評価から、草加市は厚く支援されているのでしょうか。

- ・給食費値上げ時、保護者に「子供の健康のため」と説明して、理解を得た
- ・栄養教諭の熱心な取組をみて、行政も保護者も食育をよく理解し、厚い支援に繋がった

**【鈴木】**そう思います。給食を充実させるためには給食費が最大の課題で、埼玉県の中でも草加市は川越市に次いで2番目に給食費が高いはずですが。給食費値上げの時は、栄養価の高いものを1品でも多く、子供たちに提供してくださいと、理由と目的をよく説明して、保護者の皆さんに理解して頂きました。栄養教諭の方々の熱

心な取組をみて、保護者や行政の食育に対する理解が深まり、想いの変化した結果だと思えます。

**学校給食協議会で、給食を通した食育について「子供の健康」という本当の目標を目指して話し合う必要を痛感**

**【濱松】**調布市でも給食を通した食育について、しっかり話し合わないといけないと今、お話を伺って思いました。そこに一番理解して頂きたい保護者の方に参加して頂き、「子供たちの健康」という最も大事な目標の達成を目指していけたらと思います。

- ・食育には栄養教諭とPTAとの関わりがとても重要
- ・保護者の理解と信頼が配置促進に繋がっていく

**【鈴木】**食育はやはり、栄養教諭の方々とPTAとの関わり方だと思います。度々、全国学校給食甲子園<sup>※5</sup>に出場し、いつも賞を獲得される熱心な栄養教諭から、保護者が刺激を受けて、誰も頼んでいないのに盛り上がって応援に駆けつけています。その様子には私は、栄養教諭のチャレンジが結果として保護者の食育の理解に繋がっている気がして、いい展開だなと、嬉しかったです。このように、保護者が栄養教諭の方々の取組を理解して信頼されることが、配置促進にも繋がっていくのではないのでしょうか。

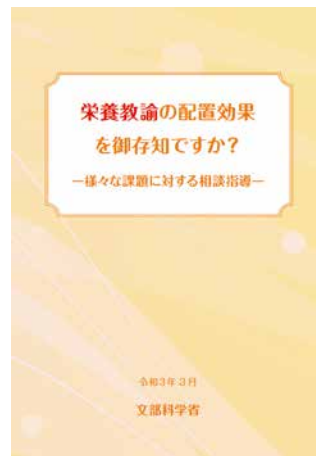
**【清久】**私もお伺いして、本当に嬉しいです。

### 今、求められている栄養教諭の姿・在り方

**積極的に子供たちの健康をまもるために、行動する！**

**【齊藤】**文科省では栄養教諭の配置促進を進めています。しかし、採用は各自治体で行われますので、自治体が栄養教諭を採用するメリットを理解する必要があります。

**文科省ホームページに、栄養教諭の配置効果に関する調査研究報告書を掲載**



文科省ホームページでは「栄養教諭の配置効果」に関する調査研究報告書を紹介しています。その内容は個別的な相談指導に着目して、健康課題別に、栄養教諭が個別指導を行って成果があった12事例を掲載したものです。

図2 栄養教諭の配置効果を御存知ですか？

令和3年3月 文部科学省



**管理栄養士・栄養士の免許を有し、教育に関する資質をもつ栄養教諭は、個別的な相談指導において、精神面のサポートも留意した指導が必要**

栄養教諭は、管理栄養士・栄養士の免許を有し、更に教育に関する資質を併せもつ教師ですから、子供の発達段階に応じて食に関する高い知識やスキルをもって指

※4 文部科学省 食に関する指導の手引  
—第二次改訂版—(平成31年3月)



※5 全国学校給食甲子園ホームページ



導することが求められます。個別的な相談指導では、子供や保護者の精神面のサポートへの留意も必要です。このように専門職ならではの指導ができる栄養教諭が、これからは求められていくと思っています。

- ・声がかかるまで待たず、課題があれば栄養教諭から相談
- ・AIやICT活用などで可能な業務をデータ化
- ・栄養教諭の専門性を充分に活かして活躍してほしい!

食に関する指導を行う上で大事なことは、栄養教諭に声がかかるまで待っていては進まないということです。栄養教諭は、他教師が気付かない子供の健康課題を見つけた場合は、報告、相談し、解決方法を提案する、全体計画に反映しマネジメントすることが大切です。栄養教諭が担う業務は多いですが、給食の管理業務だけをやっているは、栄養教諭の役割を果たし切れていないことになります。自分の業務をマネジメントするために、例えば、AIやICTを活用し、業務の中でできるところはデータ化する。調理員と共有する。そして、子供たち・他教師・保護者の前に出て行き、「栄養教諭の専門性」を充分に活かして、更に活躍して頂きたいと思っています!

【長島】ここで、もう一度ご自分のお立場から、こんな栄養教諭の姿を求めるといようなご提言をお願いします。

**全ての保護者が子供のために食育が重要と考えている**

【濱松】「食育の取組は充実しているか」という評価を重要度と満足度という二つの評価視点で保護者に実施しました。その結果は「食育は重要でない」は0でした。全員が食育は重要との回答で、当然です。

**校長に食育推進が大事だ!と強くアピールして下さい!**

校長にリーダーシップをとらせたかったら、栄養教諭の方々がもっと頑張って、強くアピールして下さい! どう校長にアピールするかで、校長のリーダーシップのレベルが決まります、私が実例です!

【長島】素晴らしいお言葉を頂き、ありがとうございます。これを受けて、中田栄養教諭いかがですか。

**先生方と一緒に思い切って調理実習を実施、その熱意に子供が大きく変わって距離がうんと近くなった!**

【中田】たくさん刺激を頂きました。では、今年度の家庭科の調理実習のお話をします。先生から「コロナ禍で調理実習が2年間できず、子供たちと今年は絶対やりたい、どうすればいいか?」との提案があり、議論しあって、全学年でコロナ感染の落ち着いている11・12月に、ここしかできないと、一気に全て実施しました。すると先生方と私たちの熱意とやる気が伝わったのか、子供たちがそこから驚くほど大きく変わって、子供・先生方・栄養教諭との距離がうんと近くなりました。お互いの専門性を生かして提案し、議論できる環境ができていたのでそのような効果に繋がりました。栄養教諭の重要な役割である個別指導も、子供たちと先生方との距離が近くなったからこそ、有

意義な提案や指導ができるようになったと心から思っています。



画6 個別指導で熱心に話し合う  
小野瀬栄養教諭、児童、保護者  
(撮影協力:茨城県東茨城郡大洗町立南中学校)

【長島】 崎浜指導主事、続いてお願いいたします。

**辛いコロナ禍だからこそ、食を通して美味しく楽しんで食べられるように、温かい配慮や工夫してほしい**

【崎浜】 今、沖縄県はコロナでひっ迫していますが、食育を止めることはできません。コロナ禍だからこそ栄養教諭は食を通して、子供たちに食の楽しさや、食が人々を繋ぐコミュニケーションの場であることを伝えて頂きたいです。ところが小学1年生は入学して、ずっと黙食給食なので、食事は危険な場と感じている子供がいるそうです。子供たちが給食を楽しく食べられるように、明るい色やかわいい絵、心の休まる音楽などを流して、暗い気持ちにならないように工夫してほしいです。それは栄養教諭の専門的な知識による指導や取組の中に、子供たちに対して温かい想いや配慮をもって、接して頂きたいということです。さらに、栄養教諭は誰にも負けないパフォーマンスみたいなことも、そっと培っておくこともコミュニケーションのツールとして必要で、色々な場面で役立つと思います。

【長島】 では続いて、保護者としてお願いいたします。

**教育委員会所属の栄養教諭が積極的に食育を進めることで、うまく流れていたが、一時期不在となり、教育長に保護者として相談、即復帰となり、重要な対応だった**

【鈴木】 草加市は学務課が給食を扱っており、その学務課の栄養教諭が先頭に立って、積極的に進めていかれるので、非常にうまく流れています。只、部署替えで一時期栄養教諭不在となり、教育長に直接相談し、すぐ戻して頂きました。それくらい、保護者として栄養教諭の存在が大きく・大切ということです。このことは、子供のためにも非常に重要な対応だったと、改めて実感しています。

【長島】 校長先生・PTA会長・保護者の立場から、「栄養教諭は必要で大事だ、おいてもらわないと困る!」といった声は、大きな応援団になりますね。しかし、現場は熱い応援ばかりではない実態もあり、両調査官、温かく・厳しい望まれることを少しお話頂けますか。

### 栄養教諭に望むこと・求められること

- ・「情報活用能力」と「コミュニケーション能力」
- ・個別に寄り添った指導と支援
- ・子供に分りやすく、深い専門性を発揮した取組

【清久】3点ほど栄養教諭等をお願いしたいことをお話しさせていただきます。先程、人間関係のお話がありましたが、1つ目は、やっぱり「情報活用能力とコミュニケーション能力」を身に着けるといことです。子供たちにも教員にも求められていることです。自分でしっかり課題を設定してその情報を収集・整理・分析・発信する「情報活用能力」は、ますます重要です。このことをぜひ身につけてください。

2つ目は、個別に寄り添った指導・支援を行うということです。これは令和3年1月26日に、中央教育審議会の答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」の中に、「食育においても今まで以上に個別に寄り添った支援をお願いします。」とあります。

**資4 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して**  
～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～

**日本が直面する課題**

- 教育振興基本計画の理念(自立・協働・創造)の継承
- 学校における働き方改革の推進
- GIGAスクール構想の実現
- 新学習指導要領の着実な実施


⇒必要な改革を躊躇なく進めることで、従来の日本型学校教育を発展させ、「令和の日本型学校教育」を実現

**「令和の日本型学校教育」の構築に向けた今後の方向性**

- ◆ 日本型学校教育の①学習機会と学力の保障、②社会の形成者としての全人的な発達・成長の保障、③安全安心な居場所・セーフティネットとしての身体的、精神的な健康の保障を重視し、継承していく
- ◆ 国に求められる役割は、人的資源、物的資源を十分に供給・支援すること
- ◆ 学校だけではなく、地域住民等と連携・協働し、一体となって子供たちの成長を支えていく
- ◆ 教育の質向上のために、発達の段階や学習場面等により、遠隔・オンラインか対面・オフラインかといった「二項対立」の陥穽(おんせい)に陥らず、双方の良さも適切に組み合わせる生かしていく
- ◆ 教育政策のPDCAサイクルの着実な推進

⇒全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現

令和3年1月26日 中央教育審議会  
「令和の日本型学校教育」の構築を目指して(答申)参照



3つ目は、より一層専門性を発揮するということです。栄養教諭は、食や栄養に関しての専門性をもっているのですから、今こそ、高い専門性を発揮して、教員や子供に分りやすく伝えるためにも、自らの資質を向上して頂きたいというのが3つ目です。

キーワードとしては、1が「情報活用能力、コミュニケーション能力」、2が「個別に寄り添った指導・支援」。3が「専門性を発揮」ですね。

### 現状と課題を把握し、課題を解決するために何に取り組むのが大切

【齊藤】勤務する学校や地域の現状を正しく把握し、何が課題か、課題を解決するために何をすることが大切だと思います。栄養教諭のことがあまり知られていない、給食がどのような目的でどのように配慮して作られているか知られていないという場合、そこから理解してもらう取組が必要です。取組は、色々なことに取り組むことが目的ではなく、何のために取り組むのが大切だと思

います。個別的な相談指導では、子供の健康課題が何かを判断する必要があります。例えば、アレルギーを有する子供の場合でも、成長曲線等から現状と課題を把握し、何を解決するためにどのような指導を行うのかを検討することが必要です。

### 専門職として、課題が何かと見極め、解決するための取組ができる栄養教諭が求められる

「栄養教諭の配置効果」に関する調査研究報告書では、ほとんど給食に箸をつけることができなかつた児童が給食を食べられるようになり、身長・体重ともにほぼ平均に改善された事例があります。子供の健康課題が何かを見極め、専門職として解決するための取組ができる、そのような栄養教諭が求められていると思います。

【長島】両調査官から、大変重い内容の発信がありました。それでは最後に、本日、これだけは言っておきたかったことがありましたら、ご発言頂きたいと思います。

- 興味の湧く情報を、効果的に学校・子供たち・家庭に周知
- ・子供たちが家に帰って話したら、最大の効果あり!
- ・そのためには先生が教室で話さないダメ
- ・それには話す気になる興味の湧く情報でないとダメ
- ・栄養教諭が嗅ぎ分けて、いい情報を出さないとダメ
- ・「話食」と「<sup>わん</sup>椀チーム」で子供のためにがんばろう!

【濱松】周知への改善策として、大事な内容を子供たちが家で話してくれたら一番効果があります。それには、先生が教室で話してくれないとダメ、先生たちが教室で話すには、栄養教諭が情報発信をしてくれないとダメ、ということですね。こんな話の伝達の輪のことを私は「話食」、すなわちしゃべる・食べるの「話食」といことです。このサイクルができると上々です。それには、教員やお家の方々が興味をもたれるような情報を栄養教諭自身が、よく嗅ぎ分けて発信しないと効果は出ません。校長が強力なリーダーシップを取って効果のある食育情報を出せるには、中核となる栄養教諭の取組の仕方次第です。

校長のリーダーシップの下、中核となる栄養教諭・教員・教育委員会・保護者の方皆をひとまとめにしてワンチームにする。私はこれをお椀で「椀チーム」と言っています。ぜひ、愉快的発想の食育に、取り組んで下さい!

【長島】「椀チーム」いいですね、両調査官お願いします。

### 笑顔、笑顔、笑顔で、子供の健康のためにがんばろう!

【清久】最後に3つお伝えして終わります。

- ① 自分がどうしたいか、明確に自分の目標設定をする。
- ② 縦と横の繋がりを大事にして、どんどん広げていく。
- ③ 笑顔・笑顔・笑顔!です。栄養教諭制度が厳しい状況だからこそ、「笑う門には福来る」にして下さい!

### 他職種との協力が不可欠です！

【齊藤】栄養教諭は、食に関する指導と学校給食の管理を行うために、業務をマネジメントする力も必要です。また、他職種との連携も不可欠です。他職種が気軽に相談できる雰囲気を作っておくことも大切です。

【長島】ありがとうございました、あっという間でした。子供たちはこれからも、たくさん困難な事態に遭遇するはず。食育はそれを乗り越え生きていくための不

可欠なものです。そこに関わる栄養教諭は、本当にやりがいのある、生きがいのある仕事と、本日しっかりと共通認識をいたしました。その成果を評価・改善に結びつけるためには、それが人に周知され活用されることで、配置促進に繋がる大きな力となります。頂いた貴重なご意見が、全国の栄養教諭等の背中を押して、更なる活躍と成果に繋がることを心から願って、コロナ禍最中の「本気の座談」を終えさせていただきます。(終)



座談にご参加の先生方

(着席左より)

濱松章洋校長

清久利和調査官

齊藤るみ調査官

(Zoom画面左上より) 長島美保子会長

崎浜あづさ指導主事

鈴木芳和PTA会長

中田智子栄養教諭

【編集後記】本号座談の中から、PTA連合会長は保護者として、栄養教諭の想いのこもった食育の取組をみて、「子供の健康に果たす栄養教諭の重要な役割」をしっかりと理解し、積極的に協働して取り組まれた結果、「学校・保護者・自治体・地域が一体となった子供の健康をまもる食育推進コミュニティ」が形成されるに至っています。また、「栄養士の心ある取組をみて、食育が子供には重要だ」と実感された校長先生からは、校内で一番想いのある食育推進リーダーとして、現場の栄養教諭への熱いエールを頂きました。今、本号の真剣な座談を終えて、「食育推進のキーマンが、栄養教諭の取組を正しく理解されることの意義と効果」を痛感しております。改めて「学校における栄養教諭の取組に対する理解と支援を得て、学校・教職員と一体となって食育を進めるために、誰にどのように周知すればよいのか」がみえてきました。

【謝辞】本号編集に際し、当協会普及改善委員会計15名の皆様から現場における取組事例・想い等、たいへん有意義な情報を頂戴し、企画当初から、様々な視点で参考にさせて頂くことができました。また、文部科学省・農林水産省・草加市立草加中学校・七飯町立七重小学校・大洗町立南中学校、栄養教諭今井ゆかり・伊藤綾子・小野瀬尋子の皆様、ほか多くの方々から、ご指導とご協力をたくさん頂戴致しました。心から感謝と御礼を申し上げます、ありがとうございました。

本号ご希望の方は、送付先住所・氏名・電話・FAX番号・メールアドレス・希望冊数をご記入の上、当協会事務局までFAX又はメールにてお申込みください。



公益財団法人 学校給食研究改善協会

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-12 サワノポリビル7階

aisl

TEL. 03-3357-6755

FAX. 03-3357-6756

E-mail: kaizen@gakkyu.or.jp

当協会ホームページでは、学校給食・食育関連および子供の健康に関わる最新のニュースを掲載しています。英語版も併せて、ご覧ください。

本紙記事・写真・図表等の無断複写・複製・転載を禁じます。学校教育現場等で指導等に活用される際には、必ず、「転載・引用等許可申請書」(当協会ホームページ掲載)にて、お申し込みくださいますようお願いいたします。指導資料としてご利用の場合は追加発送させていただきますので、お知らせください。

